

## 機関コンサルテーションについて 申込者と相談者は必ずお読みください

※申込者とは電話でお申し込みいただいた方、  
相談者とは今回コンサルテーションを受けられる支援者の方です。

### 《コンサルテーションの目的》

アセスメントや問題解決のための協議を現場の職員の方と一緒にいき、保育・教育・療育・生活の場での支援体制の充実を図ります。

### 《コンサルテーションの方法》

○訪問は必ず2回させていただきます。

1回目訪問後の実践の様子を2回目のフォロー訪問で再評価し、今後の支援を相談者と一緒に考えます。

○対象者はできるだけ1名に絞ってください。

協議の内容をその他の支援を要する方に応用してください。やむを得ず複数依頼する場合は2名まで対応します。

○同じ対象者で訪問できるのは年間2回（フォローを含めると4回）とします。

以下の内容をご了承の上、コンサルテーションをご利用ください。

### 《ポラリススタッフが提供するもの》

- ・現場を見て対象者と対象者を取り巻く環境（もの・ひと）のアセスメントをします。
- ・課題を整理します。
- ・相談者のニーズに基づき方略（環境調整・直接指導・家族支援等）と一緒に考えます。
- ・本人への支援方法を提案します。

### 《相談者の役割》

- ・ポラリススタッフにコンサルテーションで希望すること（ニーズ）を具体的にお伝えください。
- ・対象者の訪問日時点でのアセスメントと支援計画があれば情報提供してください。
- ・今後の支援をポラリススタッフと協議してください。
- ・話し合いの中であがった支援方法を実践してください。
- ・支援方法は可能な限り職員間で共有するよう努めてください。
- ・結果をポラリスに報告してください。

《流れ》 **太字**が申込者または相談者に行っていただくことです。

申し込み受付・書類発送



**書類返送** 派遣依頼書・相談シート・チェックリスト

(このコンサルテーションに希望することを具体的にご記入ください)



**事前打ち合わせ** 当日に10分程度、タイムスケジュールに入れてください。

難しいようでしたら前日までにお電話で打ち合わせをします。



**1回目訪問・話し合い** 話し合いには少なくとも担当者と管理職の2名以上で参加してください。



コンサルテーション結果報告書

対象者の様子と話し合いの結果の概要をお渡しします。



**相談報告書** フォロー訪問前に実践経過を報告してください。



**フォロー訪問・話し合い**



コンサルテーション結果報告書



**相談報告書** 訪問後の実践経過を報告してください。

\* フォロー訪問終了後も電話やメールでのご相談は可能です。

和歌山県発達障害者支援センター **ポラリス**

〒640-8273 和歌山市葵町3-25

TEL 073-413-3200 FAX 073-413-3020